



週報

入間ロータリークラブ



2016-2017 年度 RI 会長: ジョン F. ジャーム RI2570 地区ガバナー: 前嶋修身 会長: 西山祐三 幹事: 吉沢誠十

第29号 2958回例会 2017年 2月23日(木)

★★会長の時間

西山祐三会長

2014年10月RI理事会は、重点分野である『平和と紛争予防/紛争解決月間』である2月を、紛争予防と仲裁に関する、若者(将来にリーダーとなることが望まれる人)を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防/紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。

2015年6月までの、2月ロータリー月間は「世界理解月間」に指定されていました。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請されています。また、1905年2月23日は、ポール・ハリス、スターバース・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレの4人がシカゴで初めての会合を開いた日で、ロータリーの創立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日と定め、この日の意義をとくに強調し、国際理解と友情と平和にむかって献身するよう要請されています。更に、2月23日に始まる1週間を特別週間として「世界理解と平和週間(2月23日～3月1日)」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することが決議されています。

他に、ロータリーの特別週間としては世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)があります。

21日、ロータリー情報委員会 第3回勉強会がありました。私は所用があり失礼しましたが、友野委員長、齋藤栄作地区社会奉仕部門委員長有難うございました。そして参加者の方々も有難うございました。

★幹事報告

吉沢誠十幹事

- ①3月2日の例会はさくら草ホールです。
- ②3月のロータリーレート1ドル=116円

●委員長報告

ロータリー美術館

齋藤金作館長

3月第2例会は日帰りのロータリー美術館です。群馬県立美術館、午後には足利の饒阿寺と足利学校に参ります。ガイドさんもお願ひしておりますので、一人でも多くの参加宜しくお願い致します。

会員の方々の誕生祝いを月初めに行っていますが、孔子から学ぶ人生の転機なる年齢についてこの場を借りて今日はお話しさせていただきます。

- 十五歳「志学」「十有五にして学に志ざす」
- 三十歳「而立」(じりつ)「三十にして立つ」
- 四十歳「不惑」「四十にして惑わず」
- 五十歳「知命」「五十にして天命を知る」
- 六十歳「耳順」「六十にして耳順がう」
- 七十歳「従心」「七十にして心の欲する所に従えども、矩(のり)を踰(こ)えず」

<ニコニコBOX>

繁田光SAA

岩崎茂君～喜寿祝いありがとうございます。
加藤国夫君～末の娘が結婚しました。
友野政彦君～昨日のロータリー情報委員会には多数の出席ありがとうございます。
関谷永久君～本日はロータリー創立記念日。皆さんでお祝いしましょう
晝間和弘君～2/26 入間市民会館にて狭山ヶ丘高校吹奏楽OB演奏会に出演します。
繁田光君～今日はロータリー創立記念日ですが、私も47歳になりました。
山岸義弘君～早退いたします。

本日¥31,000 累計¥728,500

■ ■ ■ 会 員 卓 話 ■ ■ ■

2570 地区 米山記念奨学部門 委員長
忽滑谷明会員



ロータリー米山記念奨学事業は1952年に東京ロータリークラブが、日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち

上げたいと構想を立案したものです。その案とは海外から優秀な学生を招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想であり、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時の東京ロータリーのメンバー達の強い願いがありました。1967年には文部省から財団法人の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」を設立いたしました。世話クラブ制度やカウンセラー制度の設置、米山功労者制度の設定、特別寄付金への免税措置の認可等、他の奨学金制度とはまったく異なる日本独自の国際奨学事業となっております。2007年には、日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続きが完了いたしました。又、1983年に台湾にて元奨学生と現役奨学生によって組織される会、いわゆる米山学友会が誕生したのを皮切りに、現在8カ国に米山学友会が組織されております。

これまでに124カ国から19,197人の奨学生を支援し、規模と実績ともに民間最大の国際奨学事業となっております。2016年度の奨学生数は750人、事業費は12.6億円です。

地区の米山奨学委員会の主な役割は、この事業の理解促進と寄付増進であります。会長エレクト研修セミナーや地区協議会、部門セミナーにて事業の説明や寄付のお願い。10月の米山月間では各クラブに奨学生の卓話。その他、委員会の役割としては奨学生の募集、選考、採用及び世話クラブの選定、そして奨学生のケア、世話クラブ、カウンセラーさんとの意見交換がございます。

奨学事業の価値は、どんな奨学生を採用したかで決まります。さらに意味ある事はどんな奨学生に育ててくれたか、育てたかです。米山記念奨学事業の世話クラブ、カウンセラー制度はこの事業の神髄といえると思います。

「IMとガバナーによる年間行事」

パストガバナー

石川嘉彦会員

IM（インターシティーミーティング）というのはガバナー補佐が主催するのですか？というご質問があったので、それについて話をしていただけますか？というリクエストがありました。そう言えば比較的新しい会員の皆様に年間の行事について、きちんと説明をした事はありませんので書いてみます。



IMはガバナーの指示により各グループのガバナー補佐が主催します。昔はICGF（都市連合一般討論会）と言われて義務付けられていましたがこれがIMとなり間もなく公式行事ではなくなりました。しかし全国どの地区も勉強と懇親のためのグループ別のIMを実施しているようです。

ガバナーが年間にしなければならない行事には就任前に①地区チーム研修セミナー（次年度の地区委員の研修）②PETS（会長エレクト研修セミナー）③地区協議会（各クラブ会長エレクト及び各委員長）場合によっては就任後も等があります。就任後①ガバナー補佐によるIM②ガバナー補佐によるG補佐訪問③ガバナー公式訪問④地区大会

<出席報告>

一柳達朗委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
43名	29名	72.50%	100%

事前欠席連絡 2名

■ 回覧、配布物

- ① ガバナー月信 Vol.8
- ② セブ島メダリン地区校舎落成式 支援の日本のロータリークラブ
- ③ 国連 UNHCR 協会からのお知らせ
- ④ 2017年国際ロータリー年次大会参加募集
- ⑤ 3/9日帰り美術館出欠席表
- ⑥ 2017-18年版ロータリー手帳申し込み
- ⑦ 他クラブ週報&変更のお知らせ
- ⑧ 入間RC週報 28号
- ⑨ 西山会長より「今日は何の日」
- ⑩ 本日の卓話資料(忽滑谷明会員)

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員：大野賢次 石川嘉彦 摂田順一 白幡英悟



Rotary